



湖西中だより

No. 1 2

湖西の風

「生徒信条」

◇心身の錬磨 ◇真理の探求
◇勤労の愛好 ◇情操の陶冶

令和6年10月21日 文責 村田

「地域」「ひと」とのつながりの中で育つ湖西中生②

かまどベンチをつくっています

湖西中学校では、令和3年度から毎年、地域の方々にもご協力をいただきながら、学校地域合同防災学習に取り組んでいます。

新旭地域の大部分が、水害や土砂災害などの被害を受けやすいところであり、その地域で暮らす者として、そのリスクを正しく理解し、いざという時に適切に行動する力を身に付ける必要があるという考えからです。

今回製作するかまどベンチは、新旭住民自治協議会から大きな支援をいただいております。学校にかまどベンチを置けば、避難所が開設され、炊き出しをしなければならないとなった時に、大いに役立つだろうと思います。そして、避難所において、中学生は地域を支える大きな力になれるのではないかと思います。

10月9日（水）はかまどベンチづくりの基礎となる部分の型枠（地面を掘り、板で枠をつくる）づくりをしました。むくげの花の会・住民自治協議会の方々に交じって、ボランティアの生徒たちが、代わる代わるスコップで地面を掘り、横180cm、奥行き100cmの型枠ができました。

15日（火）には、セメントを練り、型枠に流し込む作業をしてくださいました。次は、漆喰（しっくい）で固めながら一つずつ耐火煉瓦を積み上げていく作業になります。なかなかできる経験ではありません。ぜひ、作業時にはボランティア参加をお願いします。



新旭スポーツ大会・トヨタフェス。大活躍！湖西中生

10月13日（日）、新旭スポーツ大会が実施されました。陸上部の皆さんをはじめ、多くの湖西中生が、選手として、また、補助役員として参加してくれました。

補助役員としてグラウンドを走り回る姿、また同日、今津で行われたトヨタフェスで演奏を披露した吹奏楽部の皆さんの堂々とした姿は、まさに、「学而事人～学んだことを人々や社会のために役立てる」を体現する、本当に頼もしい姿です。

皆さんの姿を見た地域の大人の方々は、きっと「元気」や「希望」を感じてくださったのではないかと思います。 あっぱれ！湖西中生！



学ぶことは変わることにマナー講座～

10月17日（木）に澤村建設の方を講師に招き、マナー講座を受けました。職場体験に向けて、正しいマナーを身に付けるためです。

職場体験の心構えや身だしなみ、挨拶の大切さやお辞儀の仕方など、教えていただいたことを職場体験で生かせるように、普段の生活の中で確かなものにしていけるよう努力したいですね。

「学んだことのたった一つの証は変わることである」と昭和の教育者 林 竹二は言いました。マナー講座も職場体験も、日々の授業も部活動も地域での体験も…、学びの場は数えきれません。その時その場で、自ら進んで学ぶこと、体験することが、新しい自分をつくっていくこと【変わることに】につながります。真剣に学び、体験する湖西中生が、この先どんなふうにならっていくのか、とても楽しみです。



新チームで頑張った、秋季新人大会！

10月18日（金）に秋季新人大会が行われました。

先輩からバトンを受け継ぎ、夏休みから新チームでスタートし、初めての公式戦となりました。多くのメンバーが初めて大会に出場するという状況で、表情からは緊張感がにじみ出ていましたが、徐々に落ち着きが見られ、力を発揮できたように思います。優勝した卓球部男子、バレーボール部の皆さん、おめでとうございます。中央合同強化練習会（県大会）も頑張ってください。

以下は主な結果です。（個人戦は入賞者）

大会結果は、配付版に記載しています。



同じく18日（金）には、吹奏楽部が両小学校で演奏会を開きました。手拍子をして、中学生の演奏を楽しく聴いてくれました。休み時間の短い時間の演奏で、「えっ、もう終わり？」とがっかりした子も多かったようです。小学生にとって、少し年上の先輩たちが奏でる演奏は、とっても魅力的だったでしょう。

